2026年11月11日

各　位

会 社 名　株式会社リーガルコーポレーション
代 表 者　代表取締役社長　青野　元一
（コード番号：7938　東証スタンダード）
問合せ先　常務取締役 コーポレート戦略本部管掌　白崎　裕公
（TEL. 047-304-7081）

通期業績予想および期末配当予想の修正ならびに役員報酬減額の継続に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年5月14日に公表いたしました2027年2月期（2026年4月1日～2027年2月28日）通期連結業績予想および期末配当予想の修正ならびに役員報酬減額の継続について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1．業績予想の修正について

(1) 2027年2月期　通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	19,750	50	90	870	291.95
今回修正予想（B）	18,800	△840	△720	170	57.59
増減額（B－A）	△950	△890	△810	△700	
増減率（%）	△4.8	－	－	△80.5	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	22,841	△385	△215	244	79.91

（注）当社は、当連結会計年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から2月末日に変更しております。決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2026年4月1日から2027年2月28日の変則的な決算となりますので、上記、2027年2月期の通期連結業績予想は11ヶ月間の予想数値を記載しています。

(2) 業績予想修正の理由

当連結会計年度の連結業績につきましては、売上高は、全天候型ドレススニーカーやハンズフリーシューズ等機能性の高い商品や一部の高価格帯商品は堅調に推移しているものの、従来からのビジネスシューズや婦人靴は依然として市況の改善が見られず想定以上に苦戦しており、前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費は減少したものの、売上高の減少に伴う売上総利益額の減

少により、営業損失、経常損失となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産および投資有価証券の売却に伴う特別利益を計上した一方で、関係会社出資金評価損等の計上および2027年2月期連結決算において、海外子会社解散に伴う事業整理費用として特別損失を追加計上する見込みであるため、前回予想を下回る見込みとなりました。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年 間 配 当 金（円 銭）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2026年5月14日予想)	－	75.00	75.00
今 回 修 正 予 想	－	30.00	30.00
当 期 実 績 (2027年2月期)	0.00		
前 期 実 績 (2026年3月期)	0.00	75.00	75.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、当業界の収益が市場動向による影響を受けやすいことから、将来にわたり安定的な経営基盤の確保と競争力の強化のため、内部留保の充実に留意いたしますとともに、株主還元方針につきましては、総還元性向 50%以上を目標としたうえで、今後の事業投資と基盤投資も勘案し、安定的な利益還元を目指すことを基本方針といたしております。

このような方針のもと、上記通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を１株当たり 30 円に修正いたしました。

なお、自己株式の取得予定額を加味した総還元性向は、200%程度となる見込みです。

２．役員報酬の減額について

上記、業績予想および配当予想の修正内容を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、2026 年 12 月までとしておりました役員報酬の減額を、2027 年 5 月まで継続することを決定いたしました。

(1) 役員報酬の減額内容

代表取締役　　月額報酬の 20%減額

常務取締役　　月額報酬の 20%減額

(2) 対象期間

2027 年 1 月から 2027 年 5 月まで

経営陣一同、業績回復および今後の成長に向け全力を尽くす所存でございます。今後とも株主の皆さまをはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上